



大臣官房長賞



持続的食料システムの確立

株式会社舞台ファーム

舞台ファームの次世代型植物工場 「美里グリーンベース」



播種から収穫までを「舞台ムービングシステム (BMS)」とハイブリッド土耕栽培で自動化。1日4～5万株のリーフレタスを出荷。2022年10月にJ-GAP認証を取得。東北大学とレタスの科学的評価を実施。

概要

- 気候変動による収量変動、担い手不足、輸入依存による価格不安定が課題。
- 「環境変動に左右されない安定供給」と「合理的価格と環境配慮を両立する仕組み」の必要性を痛感し、次世代型レタス工場を立ち上げた。
- ソイルブロックを用いたハイブリッド土耕×BMSにより露地栽培の約80倍の効率で生産。
- AI環境制御・LED照明・ロボット定植を組み合わせ、天候不順や労働力不足の影響を最小化し、「いきているレタス」を開発、流通中も根付きで鮮度を1週間以上維持。

基本情報

事業開始年度：2021年

活動年数：4年

活動地域：宮城県美里町

成果

- 水使用・資材・CO₂の削減で地域の脱炭素・資源循環に貢献。
- 鮮度延長で欠品/廃棄を同時に抑制し、流通・小売の損失を圧縮。年間の在庫・物流コストの低減に寄与。
- 消費者は根付きで“家でちぎる”体験を通じて食への参加意識が高まり、フードロス削減につながる。生産側はデータに基づく栽培・販売判断へ移行し、感覚依存からの脱却。
- 若手育成と多様な人材（DX・外国籍）の登用で、人材面の持続性も確保。

審査委員からのコメント

農業法人が取り組む事業としての構想力や規模感がとても大きく、異業種との連携も含め、地域社会全体を再構築し持続形成するシステムの可能性を感じます。